

IV 施策の取組内容



1. 農業構造の改革に向けた生産基盤の整備

1) 意欲ある経営体を育成する基盤整備

安定的な経営体が生産の中心を担う農業構造の確立を図るため、地域水田農業ビジョンに即したほ場の大区画化や水田の汎用化、畑地帯の整備等を推進し、担い手への農地の利用集積、生産コストの低減、農地の高度利用を図ります。

■平成22年度の取り組み等

- 水田整備施工面積 1 6 0 ha [H 2 2 年度末整備率見込み：7 0.6 %]
- 農地利用集積活動支援 3 1 地区

実施前



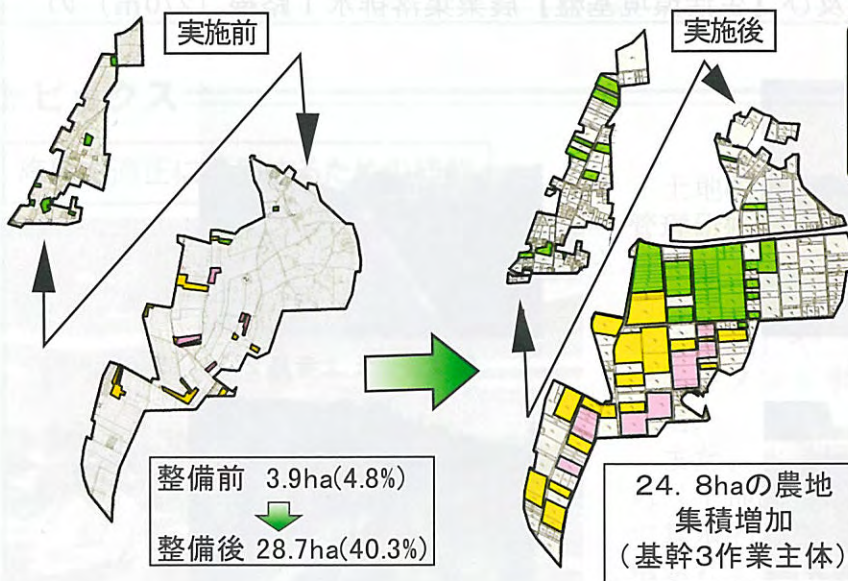
実施後



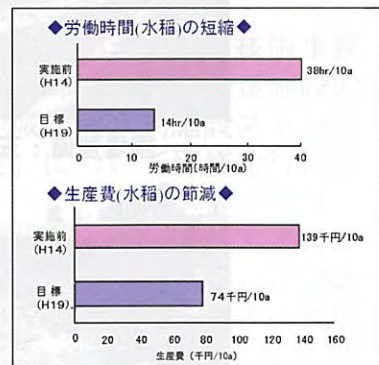
☆事業の実施により大区画化が図られ、担い手を中心とした高生産性農業の確立が展開されている（鹿沼市：田中池の尻地区）

トピックス

☆事業を契機に担い手への農地集積が図られた優良事例（真岡市：長沼西部地区）



事業名 経営体育成基盤整備事業
 受益面積 71.2ha
 工期 H14～H19
 総事業費 891,400千円
 土地改良区等 長沼西部土地改良区
 農業経営のタイプ
 個別経営農家3名へ農地利用集積を図る。水稲+麦・大豆
 水稲+施設園芸を主体とした営農類型である。



◎栃木県内における担い手への農地集積率状況（H8以降採択地区でH21まで完了地区）
 整備前 14.0% → 整備後 35.3%

IV 施策の取組内容

2) 農業の多様な主体を支える条件整備

高齢者や定年帰農者など、多様な主体の営農を考慮したきめ細やかな条件整備を推進します。また、野生鳥獣被害防止対策を進めるとともに、中山間地域等における生産基盤と生活環境の一体的な整備を進めます。

■平成22年度の取り組み等

- 農業用水の管理省力化を図るための整備 3地区
- 生産基盤と生活環境基盤を一体的に整備する総合整備の実施・支援 5地区



管理省力化を図る揚水機のインバータ化
(栃木市：国府南部地区)



農業生産性の向上と生活環境の改善
を図る農道整備（那須塩原市：鍋掛地区）

トピックス

○県営中山間地域総合整備事業 荒川清流地区

平成18年度から、塩谷町玉生、船生、上寺島、喜佐見地内において、生産基盤と生活環境基盤の整備を実施しています。

平成21年度は、【生産基盤】農業用排水4路線（1,648m）、圃場整備1団地（12ha）、農道（250m）及び【生活環境基盤】農業集落排水1路線（270m）の整備を実施しました。



圃場整備：玉生



農道整備：上寺島2



農業用用水：船生



農業用排水：喜佐見